

理想的なASP型電子カルテで、ユビキタス医療の実現と完全な個人情報保護を

松田義弘 セコム医療システム(株) ソリューション部

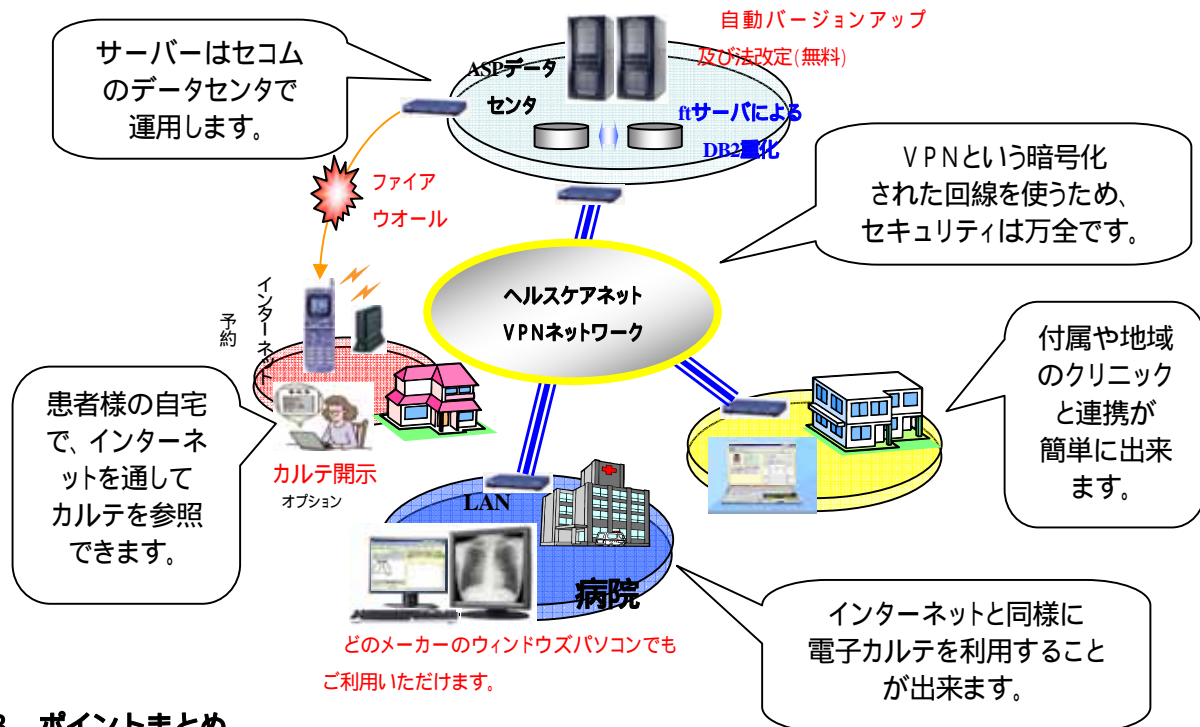
1. ASPシステムとは

ASP型のシステムが普及をし始めているが、ASPとはそもそも何なのか？ASPシステムで世の中はどう変わるか？セコムの電子カルテシステムを例に挙げてご紹介したいと思います。

光ファイバーなどのブロードバンド普及により、これまでのクライアントサーバ型からWEB型、そしてASP型へとシステムが変わってきております。ブロードバンド上であればサーバをデータセンタで運用することが出来るため、初期費用や設定作業において大幅な削減が期待できます。そして、これまでのハードとソフトをまとめてモノとして販売する形態から、システムをサービスという形で提供する方法に変わっていきます。つまり、システムを共通化し一元管理することで構築費用を最小限に抑えて、お客様に使っていただくことだけを考えたシステムがASPだからです。そのASPの仕組みとメリットを紹介して行きます。

セコム医療システムではセコムグループの情報セキュリティのノウハウをいかし、ASP型電子カルテシステムを開発しました。医療機関と、そのとりまく地域・患者様の新しい関係を提案させていただきます。

2. ASP電子カルテシステム概要図 (カルテデータは医療機関内に保存されております。)



3. ポイントまとめ

ASP電子カルテシステムで期待できる効果としては、

コストダウン：イニシャルコスト削減、バージョンアップ無料、法改定無料、リプレースなし。

サーバ運用負担減：人件費、サーバスペース、空調設備、電気代等々。

パソコンのマルチ利用：医事・カルテ専用ではなく、ワード・エクセルやインターネットも利用可。

病診連携：専用線を引かずに、簡単に病院と診療所で患者カルテ情報を共有できます。

カルテ開示：患者様に対してカルテ情報をインターネット上で公開できます。

勿論、セキュリティも万全です。情報は全てサーバ上で処理されるため、パソコン上に患者情報は保存されません。今後ますます増えていくASPシステムを、セコムでは先駆けて取り組んでおります。